

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校消防設備改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	56
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	消防設備の改修による消防法への適合
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>点検により指摘された不良箇所・型式失効等の改善・改修。</li> <li>消防設備の誤作動等による事故や災害時の生徒の安全を確保。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化対策と同様に、消防設備の改修が遅れている。</li> <li>非常放送設備及び自動火災報知設備受信機については、消防本部と協議のうえ、計画を策定し改修を実施することとした。</li> </ul>			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		消防設備改修実施率	33	45	66	%	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> <li>設備の老朽化による不良のほか、法令改正による既存不適合も発生している。</li> <li>非常放送設備及び自動火災報知設備については、改修費用がかかることから、複数年度の計画的な改修を実施。</li> <li>消防設備の経年により、点検時の指摘事項が増加しており、改修実施率を100%とすることは難しい。</li> </ul>
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,519,111	4,657,260	2,413,745			
事業費(b)(円)		4,393,200	4,517,520	2,275,560			
うち一般財源		4,393,200	4,517,520	2,275,560			
職員給与費(c)(円)		125,911	139,740	138,185			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.00					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）		コストの削減 B 削減の余地がややある			

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	消防設備改修工事の早期発注に努める。
今年度(H26)に実施した取り組み	消防設備の保守点検の結果を踏まえた不良箇所の早期改修を実施した。

取り組みの課題	改修には多額の費用がかかる消防設備も多く、保守点検での指摘に対し改修が追いついていない。
今後の改善計画	限られた予算の中で実施していくために優先順位を的確に判断し、改修していく。